

3学期、そして平成23年のスタート

1月7日(金)3学期がスタートしました。

始業式では、金子ひとみさん(1-4)、小林大斗君(2-4)、高橋真緒花さん(3-4)が新年の決意を発表しました。金子さんは「積極的に行動することを目標に、挨拶を大事にしたい」、小林君は「3年になってからでなく、今から日常生活を見返し、部活動、勉強で後悔しないようにしたい」、高橋さんは「受験勉強をがんばりながらも友との関わりを大切に、学級生活の総仕上げをしたい」と、それぞれの思いを語ってくれました。

校長先生は、終業式での24節気のお話の発展として、1月6日が小寒、1月20日が大寒にあたり、小寒から2月3日の節分までを「寒の内」と言うことを教えて下さいました。この期間は一年で最も寒さの厳しい時期であるとされ、その入り口である小寒が「寒の入り」とも言います。

「寒の入り 心あやふき 折には旅」という俳句があり、寒さで心が萎えそうになる時期に、昔の人は旅に出ることで、心にエネルギーを呼び覚ましたのだそうです。さて、旅に出るゆとりを持つことが難しい私たちは、何によって心のエネルギーを呼び覚まし、厳しい寒さを元気に乗り越えていったらよいでしょうか?友達や先生と語り合う中で、ヒントをもらうことができるかもしれませんね。

吹奏楽アンサンブルコンテスト 合唱部ボカールアンサンブルコンテスト



県アンサンブルコンテスト北信A地区大会が1月10日(月)に開催され、フルート五重奏、クラリネット八重奏、サクソフォン四重奏、金管八重奏の4グループが出場しました。どのグループも、めりはりのある好演奏で、南宮中学校吹奏楽部の実力が発揮された発表会でした。3チームが金賞でブロック大会への出場を決めました。

また、15日にはボカールアンサンブルフェスティ

バルが、同じくメセナホールで行われました。南宮中学校の合唱部は「ほたるこい」を歌って、美しいハーモニーを会場に響かせてくれました。いずれも練習の成果を発揮して堂々とした演奏、合唱でした。

大会を迎えるまで、部活動の活動時間を延長して行わせていただきました。保護者の皆様には送迎等の御協力をいただき、ほんとうにありがとうございました。



新体制生徒会 始動

2年生の生徒会新役員が生徒会のリーダーとなって、委員会活動が始まりました。1月19日(水)には、第1回目の生徒集会が開かれ、生徒会長の高野君から新しい生徒会のスローガンが発表されました。

「Step by Step
～一歩一歩着実に～」

3年生が創り上げてきた生徒会の大きな成果を引き継ぎ、その上に立って、地に足のついた活動を進めていこうという、生徒会役員のみなさんの意気込みをとてものもしく感じました。素晴らしいスローガンだなあと感じます。2年生がこれまで南宮中学校で蓄えてきた力を、最大限発揮して、南宮中学校の生徒会をさらに発展させてもらいたいと思います。



平成 23 年度新入生入学説明会 開催



来年度の1年生に入学する小学校6年生の皆さんが、1月26日に来校しました。5校時授業の参観後、武道場で入学説明会が行われました。1学年生徒全員が歓迎の合唱「コスモス」を披露してくれました。歌声作りを大切にしている南宮中学校の校風が伝わる素晴らしい合唱だったと思います。その後、1学年生徒会役員が中学校生活についての説明を行ってくれました。2年生として学校を担っていく重要な立場となる自覚が育ってきているのを感じます。この日、保護者への説明会も同時に行われました。

部活動の結果

- 県アンサンブルコンテスト地区大会中学の部
 - 金賞 フルート五重奏 クラリネット八重奏 サクソフォン四重奏
 - 銀賞 金管八重奏
- 北信小中学校ボーカルアンサンブルフェスティバル
 - 銀賞 南宮中学校
- 県アンサンブルコンテストブロック大会中学の部
 - 銀賞 フルート五重奏 クラリネット八重奏
 - 銅賞 サクソフォン四重奏

文化活動の結果

- 《国語科》第33回長野県読書感想文コンクール
 - 銀賞 竹前真由(3-4) 銅賞 松本崇太郎(3-4) 入選 田河彩香(3-2)
- 《国語科》JICA国際協力中学生エッセイコンテスト2010
 - 入選 福島風子(1-4)

